

佐野日本大学短期大学シラバス				2018
科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
栄養教育実習 Teaching Practice		2年	集中（後期）	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	実験実習	選択	（教職課程必修：栄養教諭2種免許）	栄養フィールド教職課程履修者 2年生限定
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
栄養教諭論、栄養教育実習事前事後指導				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
栄養士資格取得に必要な科目ならびに栄養教諭2種免許取得に必要な科目。				
担当者に関する情報				
氏名		研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス
（主）駒場啓子 野中春奈 藤田 睦		担当教員の研究室	授業中に指示します。	授業中に指示します
授業の概要				
本教育実習は栄養教諭免許状を修得するための必修科目である。小学校または中学校において、栄養教諭の教育実習を実地に体験する。これまで学習してきた知識、技能、態度に基づいて、大学では得られない栄養教諭としての実際を実習校で集中的に学習する。 実習については、それぞれの実習校の指導に従い、給食実務管理、授業参観、授業実習を体験する。教科の指導や教科以外の活動にも積極的に参加し、栄養教諭としての能力の向上を図る。				
授業の目標				
①学校教育に関する認識と理解を深め、教育実務や教員の心構え・態度を身につけることができるようにする。 ②教員の使命感や責任感、教育的愛情を深めながら児童・生徒と接することに配慮できるようにする。 ③栄養教諭としての実践的な指導力を身につけ、食に関連した授業研究・生徒指導・学校行事等に主体的かつ積極的に取り組むことができるようにする。				
授業の方法				
小学校または中学校における栄養教諭の教育実習 ・実習校への事前訪問および実習オリエンテーション ・実習校における観察、参加実習、体験講義実習など				
学習の成果（学習成果）				
①学校教育全般に関する理解と教職としての専門性の認識を深め、教師として必要と思われる知識、技術、態度を身につけることができる。 ②栄養教諭として、学級・教科担任等との連携を図りつつ、適切な食に関する指導をすることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	＜実習校指導教諭等からの説明：第1回～第5回＞ 教育実習巡視 駒場啓子 野中春奈 藤田 睦 教育実習計画について			
第2回目	児童（生徒）の実態と、発達段階を踏まえた指導			
第3回目	学校経営方針及び特色ある教育活動と校内組織体制			
第4回目	教職の倫理、校務分掌			
第5回目	教育課程と指導計画			
第6回目	＜児童（生徒）への個別的な相談・指導の実習：第6回＞ 個別指導・相談の場の参観、補助			

第7回目	＜児童（生徒）への教科・特別活動・総合的な学習の時間の指導等の実習：第7回～第13回＞ 学級活動及び給食の時間における指導の参観、補助	
第8回目	教科における指導の参観、補助	
第9回目	総合的な学習の時間の指導の参観、補助	
第10回目	給食放送指導、配膳指導、後片付け指導の参観、補助	
第11回目	児童（生徒）集会、委員会活動、クラブ活動における指導の参観、補助	
第12回目	授業実習の指導計画の立案、教材研究、指導案の作成	
第13回目	授業実習	
第14回目	＜食に関する指導の連携・調整：第14回～第15回＞ 校内における連携・調整（学級担任、研究授業の企画立案、校内研修等）の参観、補助	
第15回目	家庭・地域との連携・調整の参観、補助	
事前・事後学習	実習内容について予習しておくこと。授業実習では使用する媒体等の準備をしっかりと行うこと。実習で不明なことは指導教諭に質問すること。	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度		
レポート		
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）		
その他	100%	実習校からの評価、実習日誌、事前事後指導などを鑑みて総合評価
教科書と参考図書		
「教育実習の手引き」佐野日本大学短期大学 小学校学習指導要領、中学校学習指導要領、「食に関する指導の手引」 ＊必要に応じて随時指示		
履修上の留意点・ルール		
・実習校における実習は教師（教諭）としての見識、学識、態度が要求されるので、十分な教材研究等の準備をはじめとし真摯な態度で臨むこと。 ・児童及び生徒の模範となるよう言動、服装、言葉づかい等々の全ての面において細心の注意を怠らないこと。		